



桶川東中だより

☆★令和6年度★★☆

桶川東中学校通信 No.5 発行：9月3日(火)

自分自身を『リスペクト』して、成長できる学期にしよう

校長 家徳 丈夫

37日間の夏休みが終わりました。生徒の皆さんにとっては、この夏休みは充実していましたか。長期の休みでしかできない「よい経験」ができたでしょうか。私は、この夏、部活動などで頑張っている皆さんの姿をたくさん見ることができました。特に、コンクールや県大会、中には関東大会で、これまで努力してきたことを発揮しようと、頑張る姿を見て、胸が熱くなることもありました。校長として、このような経験ができたことに、感謝しています。

2学期は約4か月と長く、大きな行事もありますので、学校生活を実り多きものにするために、とても重要な学期です。皆さん一人一人が成長し、学校全体が向上する学期になることを願っています。保護者の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。以下、2学期始業式の式辞を掲載させていただきます。

今日から始まる2学期は約4か月と長く、大きな行事もありますので、学校生活を実り多きものにするために、とても重要な学期です。特に、3年生は、進路選択に向けての準備が一段と本格化する学期ですし、各行事も「中学校生活最後」となりますので、一日一日がとても大切になると思います。3年生はもちろんですが、全校生徒の皆さん一人一人が大きく成長し、学校全体がよりよく向上する学期になることを願っています。

そこで、2学期を過ごすうえで、皆さんに意識してほしいことがあります。それは、「自分自身の姿をよく知って、自分自身を『リスペクト』できるようになってほしい」ということです。案外、自分自身のことは、知っているようで知らなかったり、自分で思っていることと周りの人に見えていることが違ったりすることもあるのではないかと思います。また、誰でも、「良いところ」と「改善すべき課題」があるはずですが、私自身もそうです。今の自分にある、その両方を知ってほしいのです。もちろん、時間とともに様々な経験を積んだり、いろいろと努力したりして、「良いところ」が増えたり、「改善すべき課題」が次の段階になったりしていくこともあります。そして、新たな課題が見えてくる場合もあるかもしれません。ですから、毎日ではなくいいのですが、時々、「自分の良いところ」と「改善すべき課題」を確認してみしてほしいのです。この時、くれぐれも、自分の欠点（改善すべき課題）にばかり意識しすぎないように留意してください。まず、知るべきは「自分の良さ」です。その「良さ」を一つの自信にして、自分の課題を一つ一つ解決しながら、自信を大きくしてほしいと思っています。こうして、自分を「リスペクト」できるようになると考えています。自分に自信を持っている人（自分を「リスペクト」できる人）は、他の人に「寛容」になれるから、他の人を「リスペクト」できるのです。ちなみに、自信とは、「自分を信じることができる」ということです。いざという時に、自分を信じられるかどうかは、今後の人生で大切になってきます。先ごろ行われたオリンピックに出場したアスリートの人たちも、「力を発揮できたのは、自分を信じてベストを尽くしたからだ」と、インタビュー等で行っていました。アスリートだけでなく、皆さんも自分が信じられる人になることを願っています。ただし、誰でも「良いところ」と「改善すべき課題」がありますが、自信をもち過ぎることは、自分の成長を妨げますので、いつでも謙虚な気持ちも、もち続けてください。また、他人と比較して、自分の方が優っていると自慢する人がいます。小さな自信を持つことは悪いことではないのですが、他人を低く評価して、そのことで相手を蔑むような発言をすることは、感心できません。「リスペクト」することを忘れてしまったら、自分の心の成長につながりません。他人とばかり比較するのではなく、過去の自分と比較して、自分自身の成長を確認してください。

皆さん一人一人が自分自身の成長を実感し、2学期が実り多き学期になることを願っています。

8・9月の生活目標

- ・2学期の目標を立て、学習に取り組もう
- ・規則正しい生活を心がけよう

重点目標

- ・服装を整えて生活しよう
- ・熱中症に気をつけて生活しよう